

区分	その他
----	-----

案 件 概 要

共 通	
件名	・東京2025世界陸上サプライヤー（新聞）スポンサーシップ契約 ・東京2025世界陸上競技選手権大会における新聞広告に係る業務委託（VIKに係る供給契約）
契約主体	公益財団法人東京2025世界陸上財団
契約方法	一般競争入札
内 容	
○協賛基準額は3,000万円とし、「新聞広告スペースの提供」を内容とする現物協賛（VIK）とする。 ○入札にあたっては、参加事業者が「現物協賛の基準」を満たす新聞広告の効果指標を提示し、最も高い指標を示した事業者を優先交渉者（落札候補者）に決定 ○入札時に優先交渉者が提示した現物出資（VIK）の供給内容に基づき、協賛基準額を契約額とする「新聞広告に係る業務委託契約（VIKに係る供給契約）」を締結する。 【スポンサーシップ契約】 カテゴリー：新聞 契約期間：契約締結日から令和7年12月21日まで 協賛基準額：30,000,000円（税抜） 【新聞広告に係る業務委託】 概要：新聞広告の掲出（協賛入札時の提示内容） 契約期間：契約締結日から令和7年10月31日まで 契約額：協賛基準額	

契約締結前付議理由	
付議基準	
入札・契約手続き等確認結果	
所管部署	業務室業務開発部業務開発課 FA：Marketing

収入案件 個別確認表（契約手続実施前）

案件名	・東京2025世界陸上サプライヤー（新聞）スポンサーシップ契約 ・東京2025世界陸上競技選手権大会における新聞広告に係る業務委託（VIKに係る供給契約）
契約方式	競争入札（一般競争入札）

確認の視点	確認内容	備考
契約手続の適正性		
財団での意思決定プロセスの手続きが適正に取られたものであること	●本案件は、公益財団法人東京2025世界陸上財団での意思決定プロセスに沿って、契約手続の決定が行われていることを確認した。	
公募カテゴリーが適切であること	●本案件は、カテゴリーリリース契約に則ったカテゴリーであることを確認した。 ●カテゴリーの対象となる製品／サービスが明確に記載されていることを確認した。	
販売プロセスが適切であること	●「スポンサーシップ販売方針」に従い、適切な販売プロセスがスケジュールされていることを確認した。	
優先供給権の内容が適切に示されていること	●供給優先権の対象となる調達が見込まれる場合、調達の概要が適切に示されていることを確認した。	
募集方式の精査・確認		
募集方式が妥当なものであること	●公募を原則として入札手続を行うことを確認した。 ●特定の企業に有利／不利な公募内容となっていないことを確認した。	

区分	その他
----	-----

共 通	
件名	東京2025世界陸上競技選手権大会コマーシャル ディスプレイに係る計画・運営業務委託
契約主体	公益財団法人東京2025世界陸上財団
契約方法	競争入札（希望制指名競争入札）
内 容	
【目的】 大会期間中、スポンサー等のステークホルダーが、展示・デ モンストレーション・サンプリングなどを集中的に行うエリア である「コマーシャルディスプレイ」を計画し、実施運営する 業務を委託する。 【主な業務内容】 ○実施体制の構築、出展者との調整 ・実施体制の構築及び運営マニュアルの作成 ・各ブースの出展内容調整、出展者向け説明会の実施 ○制作物及び備品の手配に係る業務 ・エリア内看板等のサイネージの制作 ・運営に必要な備品の手配、出展者向けレートカードの 構築 ○搬入搬出・設営撤去業務、当日の運営業務 ・コマーシャルディスプレイの搬入搬出及び設営撤去の 調整 ・運営本部を設置し、出展者への対応を実施 【契約期間】 契約確定の日の翌日から令和7年12月19日まで	
契約方法が競争入札以外の場合の理由	
契約締結前付議理由	
付議基準	
入札・契約手続き等確認結果	
所管部署	業務室業務開発部業務開発課 FA : Marketing

契約・調達案件 個別確認表（契約手続実施前）

案件名	東京2025世界陸上競技選手権大会コマーシャルディスプレイに係る計画・運営業務委託
契約方式	競争入札（希望制指名競争入札）

確認の視点	確認内容	備考
契約手続きの適正性		
発注組織での意思決定プロセスの手続きが適正に取られたものであること	●本案件は、公益財団法人東京2025世界陸上財団での意思決定プロセスに沿って、事業執行の決定が行われていることを確認した。	
大会経費として妥当なものであること	●本案件は、東京2025世界陸上競技選手権大会の準備・運営におけるコマーシャルディスプレイの運営に係る事業であり、財団の役割に基づく業務内容であることを確認した。 ●運営・準備等に必要な項目であり、対象経費として妥当であることを確認した。	
事業執行にあたり、仕様書の内容が適切なものであること	●業務内容が簡潔、詳細かつ正確に記載されていることを確認した。 ●業務履行上の費用負担が明記されていることを確認した。 ●成果品の内容、納品数、納品期限等が具体的に記載されていることを確認した。	
予算執行が適正なものであること	●大会の準備・運営を進めていくにあたり、適正な予算執行であることを確認した。	
予定価格が妥当なものであること	●定められた労務単価や市場価格等を参考に、予定価格を適切に算出していることを確認した。	
契約方式の精査・確認		
契約方式が妥当なものであること	●入札参加希望者を公募したうえで、公表している指名基準に基づき指名し、入札の方法により競争させ、最も有利な価格を提示した者と契約を締結する方式が妥当であることを確認した。	

区分	その他
----	-----

共 通	
件名	東京2025世界陸上競技選手権大会におけるFF&Eの運営及び大会関連施設の会場設営業務委託
契約主体	公益財団法人東京2025世界陸上財団
契約方法	競争入札（希望制指名競争入札）
内 容	
【目的】 大会におけるFF&E及び会場設営の「実施計画」を策定するとともに、FF&Eの運営及び会場設営を行い、各会場を大会関連施設として使用できる状態に設営する。 ※FF&E：Furniture, Fixture and Equipment （家具、什器・備品） 【主な業務内容】 ○実施計画の策定 FF&Eの運営及び会場設営に関する実施計画を策定 ○FF&Eの運営 各会場へのFF&Eの調達、搬入・設営、保守管理、撤去・搬出 ○会場設営 大会関連施設における仮設テント・仮設トイレの設営、仮設電源の整備など 【契約期間】 契約確定の日の翌日から令和7年12月26日まで	
契約方法が競争入札以外の場合の理由	
契約締結前付議理由	
付議基準	
入札・契約手続き等確認結果	
所管部署	業務室会場調整部会場調整課 FA：Venue Management

契約・調達案件 個別確認表（契約手続実施前）

案件名	東京2025世界陸上競技選手権大会におけるFF&Eの運営及び大会関連施設の会場設営業務委託
契約方式	競争入札（希望制指名競争入札）

確認の視点	確認内容	備考
契約手続きの適正性		
発注組織での意思決定プロセスの手続きが適正に取られたものであること	●本案件は、公益財団法人東京2025世界陸上財団での意思決定プロセスに沿って、事業執行の決定が行われていることを確認した。	
大会経費として妥当なものであること	●本案件は、東京2025世界陸上競技選手権大会の準備・運営におけるFF&E（家具、什器・備品）の運営に係る事業であり、財団の役割に基づく業務内容であることを確認した。 ●運営・準備等に必要な項目であり、対象経費として妥当であることを確認した。	
事業執行にあたり、仕様書の内容が適切なものであること	●業務内容が簡潔、詳細かつ正確に記載されていることを確認した。 ●業務履行上の費用負担が明記されていることを確認した。 ●成果品の内容、納品数、納品期限等が具体的に記載されていることを確認した。	
予算執行が適正なものであること	●大会の準備・運営を進めていくにあたり、適正な予算執行であることを確認した。	
予定価格が妥当なものであること	●定められた労務単価や市場価格等を参考に、予定価格を適切に算出していることを確認した。	
公費の対象として適切なものであること	●東京の価値向上に資する大会開催に向け、必要な環境整備を行う経費であることを確認した。	
契約方式の精査・確認		
契約方式が妥当なものであること	●入札参加希望者を公募したうえで、公表している指名基準に基づき指名し、入札の方法により競争させ、最も有利な価格を提示した者と契約を締結する方式が妥当であることを確認した。	

区分	その他
----	-----

共 通	
件名	東京2025世界陸上競技選手権大会における国立競技場内ラウンジ飲食提供等業務委託
契約主体	公益財団法人東京2025世界陸上財団
契約方法	競争入札（希望制指名競争入札）
内 容	
【目的】 大会の基本方針に基づき、大会期間中、国立競技場 2 階に設置されるラウンジにおいて、大会に参加するVVIP及びVIPに対して飲食サービスを提供する業務等を委託する。 ※VVIP：WA幹部、WA及び世界陸上財団のゲスト等 VIP：各国陸上連盟会長、代表団幹部、WAのゲスト等 【主な業務内容】 ○運営計画の作成 実施スケジュール、運営体制、衛生管理方法等をまとめた運営計画を作成 ○飲食の提供 国立競技場内ラウンジに必要なスタッフを配置し、VVIP及びVIPに対してbuffetスタイルでの飲食サービスを提供 （想定総食数：約18,000食） ○会場運営業務 ラウンジ内の清掃、レイアウト設計、運営の準備及び撤去 【契約期間】 契約確定の日の翌日から令和 7 年11月28日まで	
契約方法が競争入札以外の場合の理由	
契約締結前付議理由	
付議基準	
入札・契約手続き等確認結果	
所管部署	
業務室宿泊輸送部宿泊輸送課 FA : Food & Beverage	

契約・調達案件 個別確認表（契約手続実施前）

案件名	東京2025世界陸上競技選手権大会における国立競技場内ラウンジ飲食提供等業務委託
契約方式	競争入札（希望制指名競争入札）

確認の視点	確認内容	備考
契約手続きの適正性		
発注組織での意思決定プロセスの手続きが適正に取られたものであること	●本案件は、公益財団法人東京2025世界陸上財団での意思決定プロセスに沿って、事業執行の決定が行われていることを確認した。	
大会経費として妥当なものであること	●本案件は、東京2025世界陸上競技選手権大会の準備・運営における国立競技場内ラウンジの運営に係る事業であり、財団の役割に基づく業務内容であることを確認した。 ●運営・準備等に必要な項目であり、対象経費として妥当であることを確認した。	
事業執行にあたり、仕様書の内容が適切なものであること	●業務内容が簡潔、詳細かつ正確に記載されていることを確認した。 ●業務履行上の費用負担が明記されていることを確認した。 ●成果品の内容、納品数、納品期限等が具体的に記載されていることを確認した。	
予算執行が適正なものであること	●大会の準備・運営を進めていくにあたり、適正な予算執行であることを確認した。	
予定価格が妥当なものであること	●定められた労務単価や市場価格等を参考に、予定価格を適切に算出していることを確認した。	
契約方式の精査・確認		
契約方式が妥当なものであること	●入札参加希望者を公募したうえで、公表している指名基準に基づき指名し、入札の方法により競争させ、最も有利な価格を提示した者と契約を締結する方式が妥当であることを確認した。	

区分	その他
----	-----

案 件 概 要

共 通		契 約 変 更	
件名	仮設構築物等整備業務		
契約主体	公益財団法人東京2025世界陸上財団		
契約方法	競争入札（希望制指名競争入札）		
内 容			
【目的】 仮設構築物等におけるIBC/HBCの建設や各種電気設備の整備等を委託する。 大会開催前までの限られた期間の中で、実施設計及び施工等を実施する十分な期間を確保するため、民間企業の優れた技術を活用し、効率的かつ合理的な設計・施工の実施、工事品質の一層の向上が期待できる「設計・施工一括発注方式（DB方式）」を採用する。 【主な業務内容】 ○実施設計業務 要求水準に規定した仕様及び性能等を満たし、かつ競技大会の開催に必要な各要件を満たした設計図書の作成 ○工事施工業務 HBC・IBC工事、プラットフォーム工事、内装改修工事、その他建築工事、電気設備工事 【契約期間】 契約締結日から令和8年1月30日まで		○令和6年8月2日付で契約締結 契約者：株式会社電通ライブ 契約金額：1,017,947,414円（税込） 【理由】 ○本業務の発注後にWAによる現地視察や放送事業者のオーダー等により、整備内容や数量の変更が生じたため、契約変更を行う。 変更後契約額（概算）：1,160百万円（税込） 増額金額（概算）：140百万円 【主な変更点】 ○世界陸上の魅力を世界に発信できる環境を整備 世界に感動を届けるためにフィニッシュの瞬間を確認できる位置に記者席を設置 ○整備内容の見直しと収入の最大化 各国の放送事業者のオーダーを踏まえ、WAと協議し、チケット販売できる観客席を最大化できるよう、競技終了後の選手への取材スペースの形状を変更	
		所管部署	業務室会場調整部会場整備課 FA：Infrastructure、Overlay

契約・調達案件 個別確認表（契約変更）

案件名	仮設構築物等整備業務
契約方式	競争入札（希望制指名競争入札）

確認の視点	確認内容	備 考
契約手続きの適正性		
発注組織での意思決定プロセスの手続きが適正に取られたものであること	● 本案件は、公益財団法人東京2025世界陸上財団での意思決定プロセスに沿って、事業執行の決定が行われていることを確認した。	
大会経費として妥当なものであること	● 本案件は、東京2025世界陸上競技選手権大会の準備・運営における仮設構築物等整備に係る事業であり、財団の役割に基づく業務内容であることを確認した。 ● 運営・準備等に必要項目であり、対象経費として妥当であることを確認した。	
事業執行にあたり、仕様書の内容が適切なものであること	● 業務内容が簡潔、詳細かつ正確に記載されていることを確認した。 ● 業務履行上の費用負担が明記されていることを確認した。 ● 成果品の内容、納品数、納品期限等が具体的に記載されていることを確認した。	
予算執行が適正なものであること	● 大会の準備・運営を進めていくにあたり、適正な予算執行であることを確認した。	
予定価格が妥当なものであること	● 定められた労務単価や市場価格等を参考に、予定価格を適切に算出していることを確認した。	
公費の対象として適切なものであること	● 東京の価値向上に資する大会開催に向け、必要な環境整備を行う経費であることを確認した。	
契約方式の精査・確認		
契約方式が妥当なものであること	● 契約変更が妥当であることを、原契約との同一性の確保、新規発注による弊害及び経済性の比較の観点から検証を行い、確認した。	